

司法修習生研修で解説

— 港湾労働とは何か —

3月1日、大阪弁護士会館にて司法修習生研修の講義を実施しました。大阪支部は司法修習生の研修として毎年、大阪労働者弁護団と打合せをしている様々な形式で実施しています。

司法修習生とは、司法試験に合格した後、裁判官、検察官、弁護士になる前に修習を受けている段階の人のことをいいます。

毎年、全国で約2千名が司法修習生になっていますが、この中で、将来、裁判官や検察官になる人はあわせて約200名で、残りの約1800名は弁護士になります。

その中で研修生はいろんなキャリアコラムを選択し、実務研修として「港湾労働者の現場」を選択した10名が午前中約2時間リモートで参加しました。

講義として、はじめに「浜男のうたが聞こえる(1995年神戸・港湾荷役の記録)」を上映しました。

その後、第1講義を國分副委員長から全港湾の歴史と組織構造、全国港湾、大港労協の説明がありました。



休憩後、第2講義として大阪支部の紹介動画を見てもらい、私からは「たたかう労働組合とは」と題してメーデーの歴史、権利確立の闘いとして上組闘争やクボタ本

社前抗議行動などを紹介して、現在の労働相談内容がどのように変化してきたかパワーポイントで資料を用いて説明しました。

コロナ禍前は大正内港など現場視察をメインにして交流もしてきましたが、2020年からは弁護士会館で講義をしています。

研修生は労働現場や労働組合を理解していない人が多く、弁護士からもっと多くの研修生が参加できるように告知や呼びかけをしてほしいと感じました。今年10月頃、コロナ禍が収まっていれば現場視察をしていきたいと弁護士から要望もあり、大阪支部としても準備していきたいと思います。

(執行部 陣内 恒治)



ロシア連邦在大阪総領事館へ抗議行動

ロシア軍はウクライナから撤退を!

大阪支部と共闘関係にある「しないさせない戦争協力関西ネットワーク」はロシア軍のウクライナ侵攻を許さないとして3月1日、豊中市にあるロシア連邦在大阪総領事館前にて緊急行動が開催された。



3日前にSNSを通して呼びかけただけでもかかわらず、雨の中、約100名が集まった。

近隣の市民も参加し「このような集会に初めてきました。ここで訴えることは重要です」と話され、イギリスとウクライナの方がたも参加し、英語で抗議した。

そして領事館前の抗議を1日で終わらせてはいけないと、3月8日も抗議行動を行い、70名が集まり抗議の声をあげた。

参加した人びとは、自作でプラカードを作り、民間の人道援助、原発の危険性、ロシア軍の即時撤退を訴えた。

「ロシアはウクライナの主権と領土を侵し国際法を踏みこむ侵略行為だ」とした声明文を領事館に投函した。

次回の行動を3月16日とした。(執行部 陣内 恒治)



だんけつ



発行 大阪市港区築港1-12-27 全日本港湾労働組合関西地方大阪支部 発行責任者 國分 仁昭



22春闘総決起集会

書記次長 横山 貴安基

3月6日(日)、大阪第2港湾労働者福祉センター(大正区)前にて、「全港湾大阪支部22春闘総決起集会」が総勢約200名の参加で開催されました。

小林委員長をはじめに、各来賓よりあいさつをいただきました。

また、現在ロシアとウクライナが戦争状態であり、多くの民間人を巻き込む武力行使に対し、全港湾大阪支部としての声明文が吉副書記長より読み上げられました。

最後に小林委員長の「団結ガンバロー」で意思統一をし、集会を締めくくりました。

集会終了後、22春闘勝利、また大阪支部の春闘方針に沿った運動をアピールするべく、シュプレヒコールを上げながら大正駅近くの岩崎橋公園までデモ行進を行いました。

そのなかでも先頭の街宣車、最後尾でのシュプレヒコールを青年部員が行い、活気あふれるデモ行進となりました。

近年物価上昇・税金負担が大きくなり、我々の生活は疲弊の一途を辿っています。いっぼうで大企

業の内部留保は過去最高額となっています。腐敗した現在の資本主義に「NO!」の声を上げ、力強い運動を構築し、大幅賃上げを実現しましょう。もちろん賃上げだけでなく、統一要求の全協定化の実現に向けての運動も重要であり、労働条件の改善に取り組みましよう。



小林委員長は冒頭のあいさつで「平和なくして労働運動なし」と話され、全港湾の綱領の精神である「我等は広く万国の労働者と提携し、世界の進運に寄与し、以て国際平和の確立を期す」とあります。シュプレヒコールでも「憲法9

条改悪反対」「平和憲法を護ろう」「辺野古新基地建設反対」「老朽原発再稼働反対」と声を上げました。

世界が平和であるために、各々組合員が他人事ではなく、意識を持たなくてはなりません。いかなる理由があるにせよ、人びとを傷つける武力行使には絶対反対の声を上げ続けることが我々の義務であります。

大阪では万博・IR・カジノ誘致問題があります。予定地は我々港湾の職域であり、これによって労働環境が侵され、条件が粗悪になることは目に見えています。企業だけを儲かせようとする維新政治に打ち勝つためにも、夏に行われる参議院選挙には、働く労働者が団結し、勝利に向けた運動を展開しましょう。

近年続いているコロナ禍の影響で活動が制限されている状況ではありますが、我々の運動が弱体化しない様にするのが大切です。

全港湾大阪支部組合員全員で一致団結し、22春闘を必ず勝利しましょう。